



2021年2月10日

各 位

会 社 名 ユニフォームネクスト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 横井康孝  
(コード番号 3566 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 執行役員 管理部長 吉川貴之  
(TEL. 0776-43-1034)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時	2021年2月10日(水) 13:30~14:30
開催方法	オンライン配信による開催
開催場所	ユニフォームネクスト株式会社 (福井県福井市八重巻町25号81番地)
説明会資料名	2020年12月期 決算説明資料

【添付資料】

- ・投資説明会において使用した資料

以 上



ユニフォームネクスト株式会社（3566）

2020年12月期決算説明資料

# 事業実績

---

## 20/12期 ハイライト

### 業績概況

- ・売上高4,968百万円（前年比5.4%増）
- ・営業利益322百万円（同10.9%減）
- ・経常利益338百万円（同6.8%減）
- ▶期初の暖冬と期末の気温低下の遅れにより防寒商品販売が伸び悩む。3月以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全国でイベント中止、営業時短が相次ぎ、飲食店カテゴリの売上に影響。医療、作業服カテゴリは順調に販売を重ね、売上の伸びに寄与。感染症による売上減に対し、固定費割合の増加により営業利益は昨年対比10%減での着地。
- ・特別利益70百万円（市からの社屋建設助成金） 特別損失△68百万円（固定資産圧縮損）

### 部門別内訳

- ・サービス部門 売上高2,088百万円（前年比4.8%減）
- ・オフィスワーク部門 売上高2,620百万円（前年比19.1%増）
- ・その他 訪問営業販売実績 259百万円（前年比19.5%減）

### トピックス

- ・新受発注システムリリース（2月末）。約10%の業務効率化、余剰分は接客対応の強化へ。
- ・メーカー新商品「スーツ型作業服」の販売好調、自社限定モデルを12月に発売。
- ・訪問営業の県外エリアへの進出開始、ZOOMを活用。
- ・IT部門の強化 顧問、エンジニアの増員により10名体制に拡大。
- ・ボトムアップ体制への移行 2年経過し、社員自らが判断し行動する組織に変化。

## 新型コロナウイルスの影響

---

### 事業への影響

- ・飲食店ユニフォームを中心に、営業自粛・イベント中止の影響あり。  
今後、感染拡大に伴う緊急事態宣言発令で営業自粛が加速する際には、同程度の影響が出る可能性あり。
- ・作業服、医療ユニフォームの販売への影響は軽微。
- ・外出自粛の影響で従来実店舗等で購入していたユーザーがEC利用に流れ、CV数増加に寄与。
- ・海外生産商品の納期については全体として大きな影響はなし（一部品番で若干の遅延は発生）。

---

### 当社内の対応状況

- ・従業員の安全に配慮し、在宅勤務環境、ルールを整備。  
物流、加工部門以外は在宅勤務を実施済（テスト含む）。在宅勤務時の生産性への大きな影響はなし。
  - ・商談、訪問のオンライン化。
-

## 業績概要

単位：百万円

	19/12期	20/12期	前年比	通期予想	達成率
売上	4,714	4,968	105%	5,011	99%
売上総利益	1,783	1,867	104%	—	—
対売上比	37.8%	37.6%	-0.2%	—	—
販売管理費	1,422	1,545	108%	—	—
対売上比	30.2%	31.1%	0.9%	—	—
営業利益	361	322	89%	301	106%
対売上比	7.7%	6.5%	-1.2%	6.0%	—
経常利益	363	338	93%	315	107%
当期純利益	241	223	92%	207	107%

## 業績概要 (四半期)

単位：百万円

	1Q	2Q	3Q	4Q
売上	899	1,527	1,201	1,340
売上総利益	326	583	448	510
対売上比	36.3%	38.2%	37.3%	38.1%
販売管理費	358	444	382	360
対売上比	39.9%	29.1%	31.8%	26.9%
営業利益	△32	138	65	149
対売上比	△3.6%	9.1%	5.5%	11.2%

# 財政状態

単位：百万円

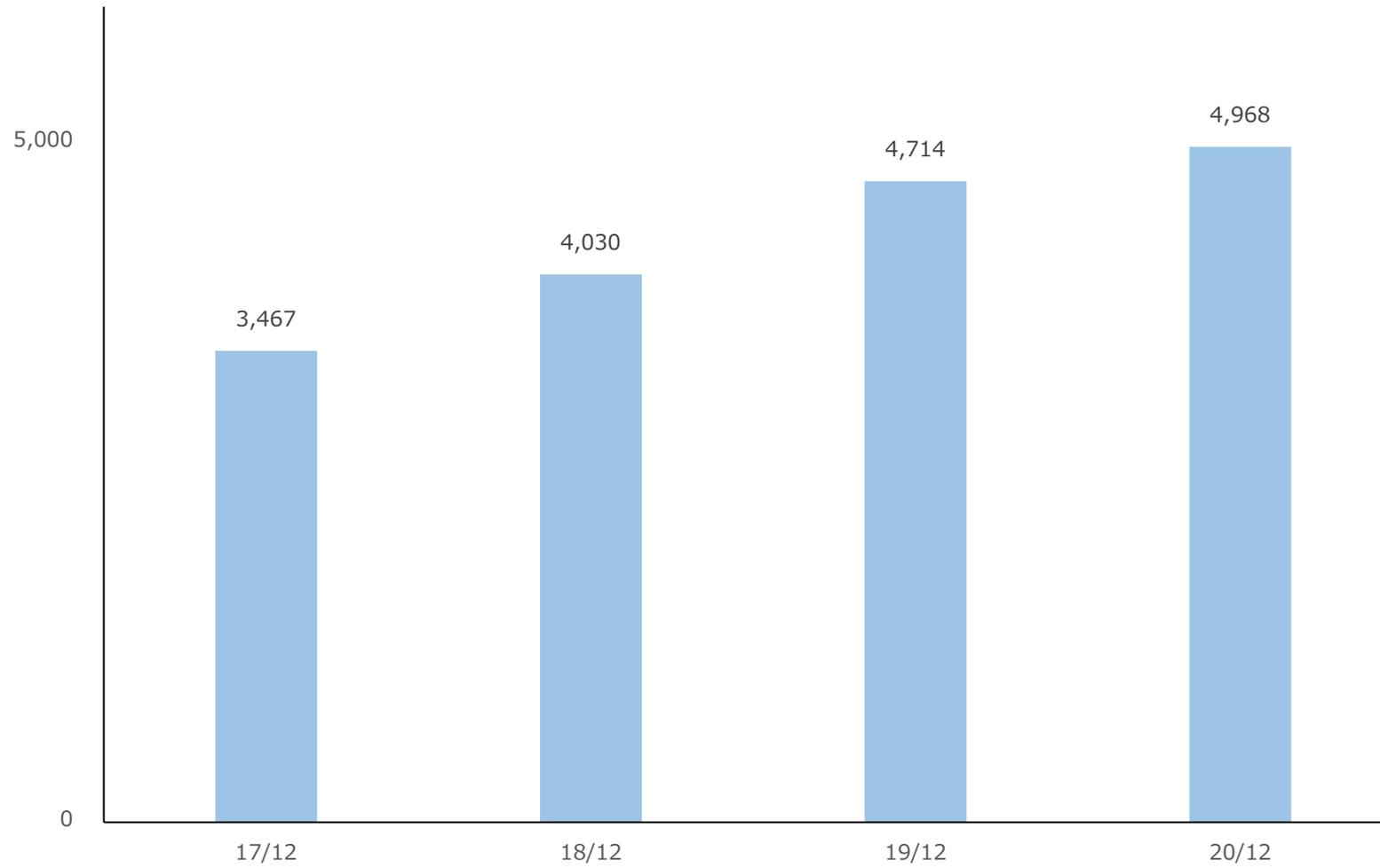
	19/12期末	20/12期末		19/12期末	20/12期末
流動資産	1,881	2,072	流動負債	853	840
現預金	1,411	1,590	電子記録債務	229	255
商品	299	306	買掛金	148	178
固定資産	1,259	1,148	固定負債	245	136
有形	1,108	1,001	長期借入金	228	123
無形	127	105	純資産	2,041	2,244
資産合計	3,140	3,221	負債純資産合計	3,140	3,221

## キャッシュ・フローの推移

	19/12期	20/12期	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	335	276	
投資活動による キャッシュ・フロー	△95	33	設備投資抑制
財務活動による キャッシュ・フロー	△120	△129	借入金の返済
現金及び現金同等物の 期末残高	1,411	1,590	

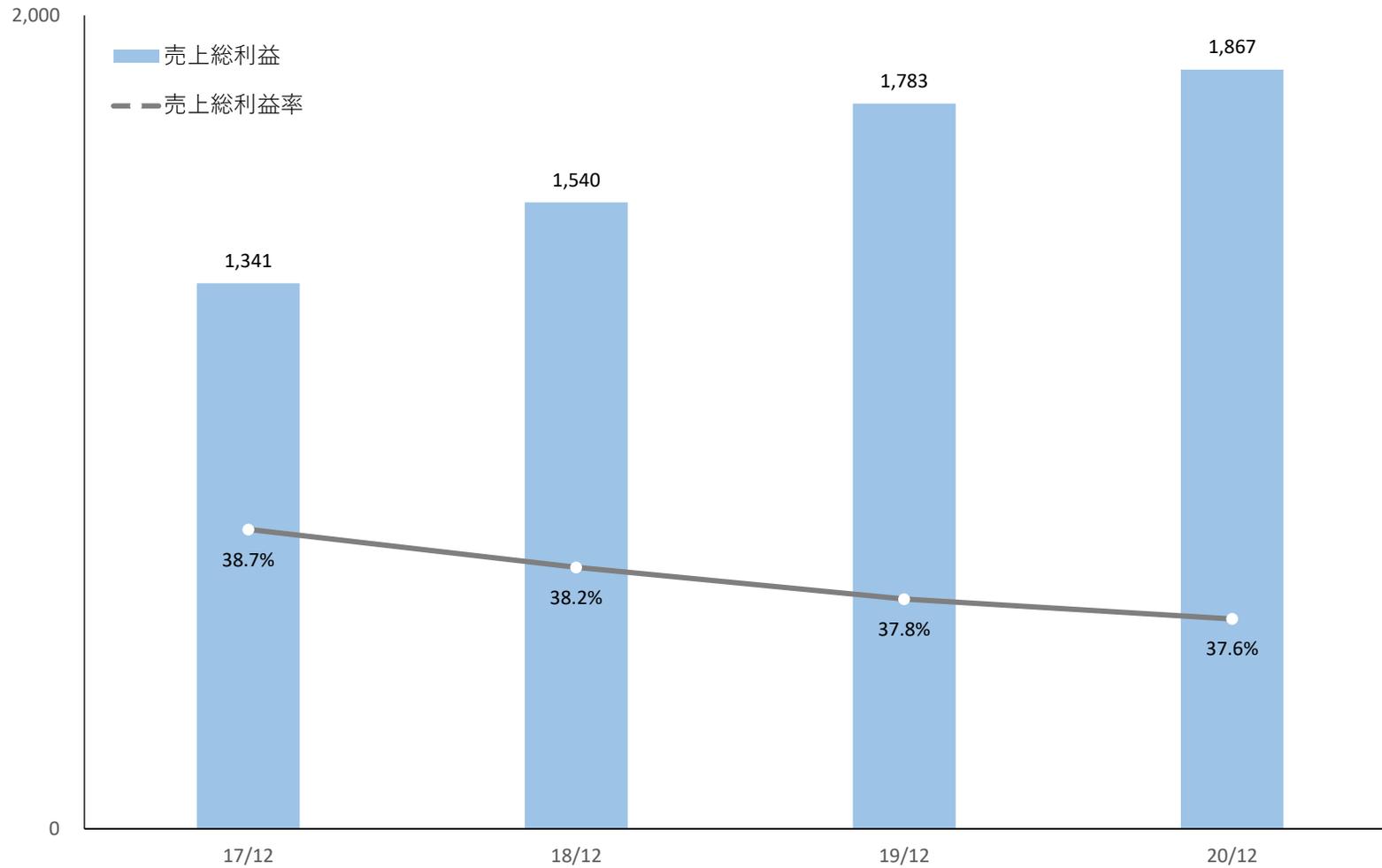
## 売上高の推移

単位：百万円



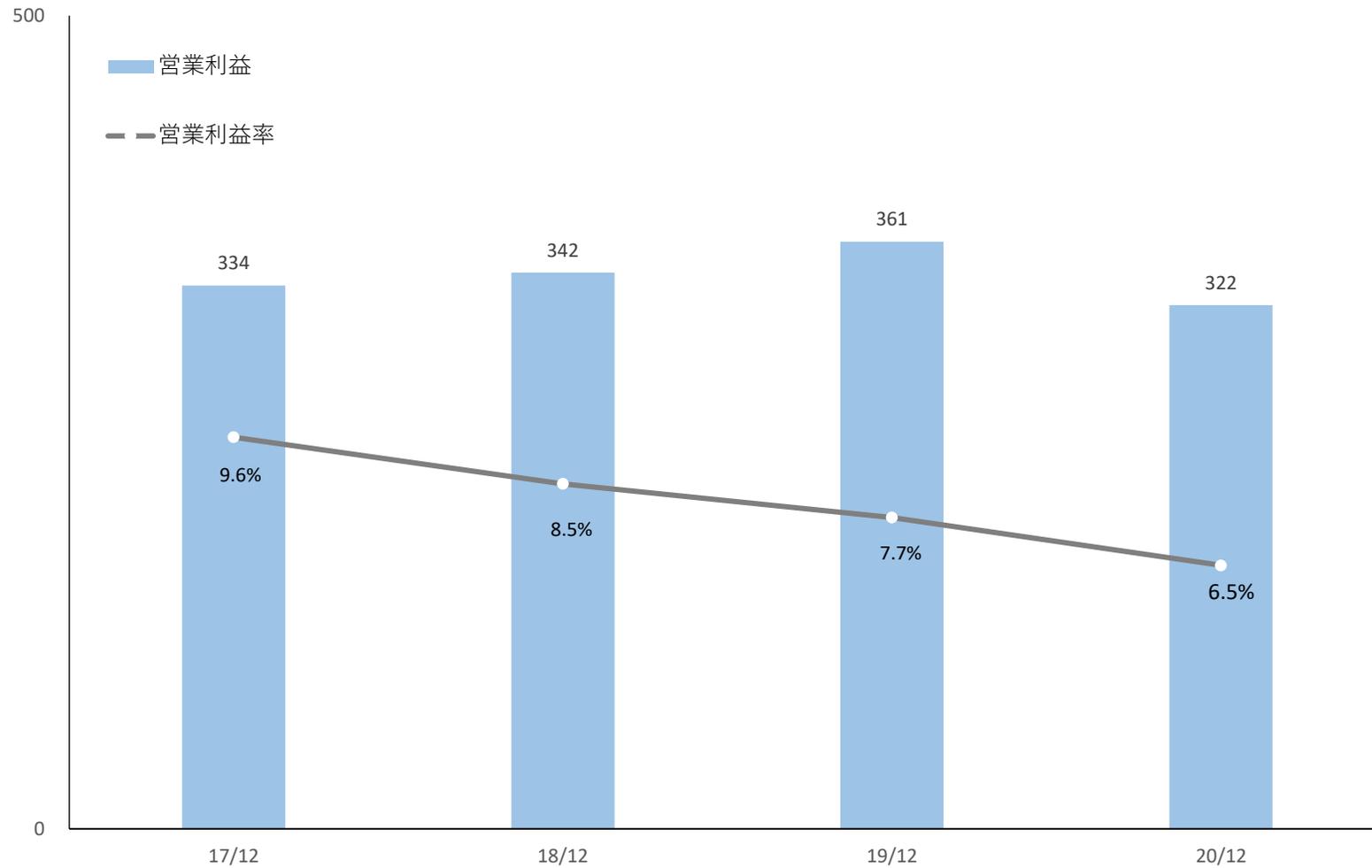
# 売上総利益・売上総利益率の推移

単位：百万円



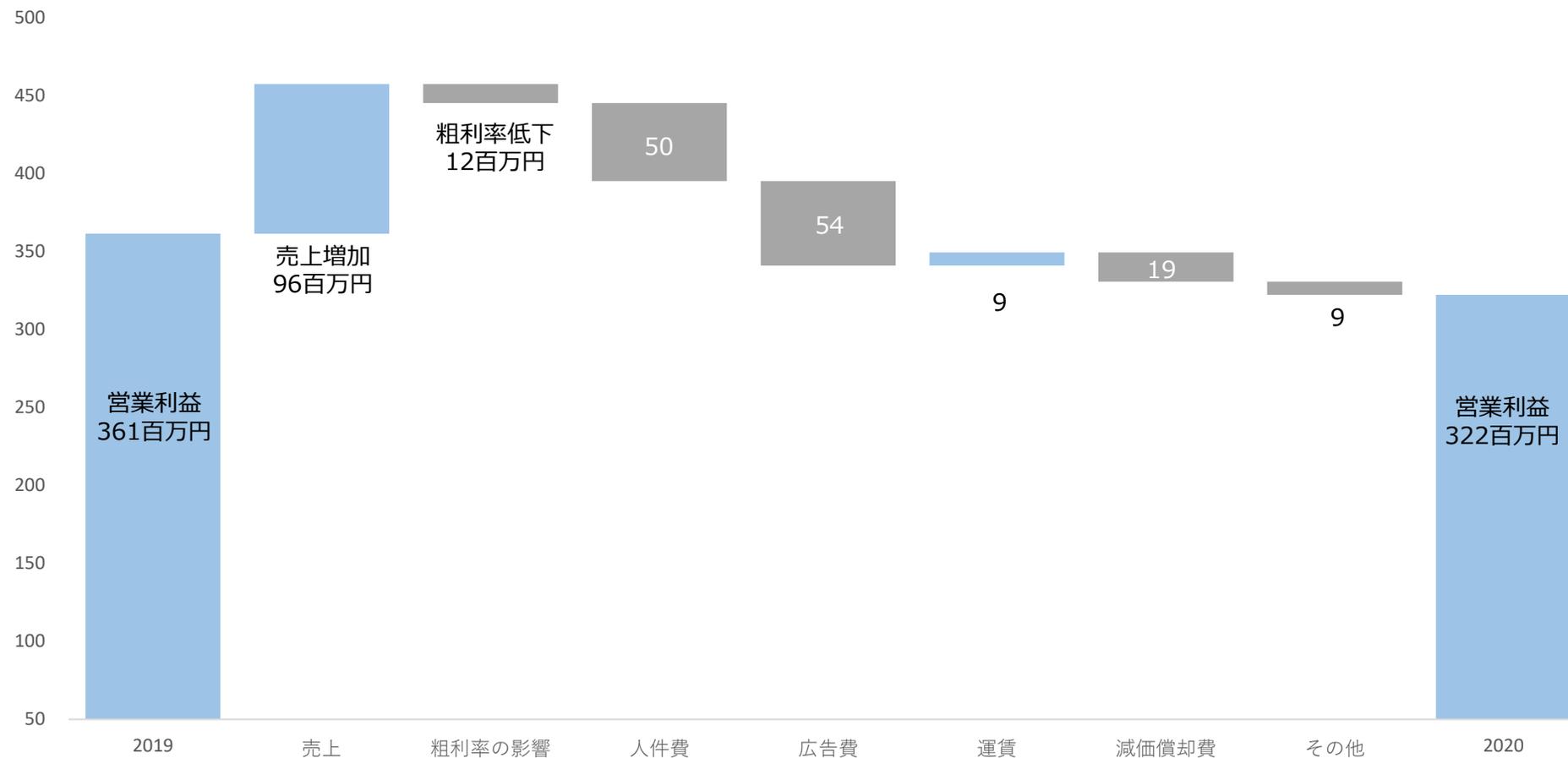
# 営業利益・営業利益率の推移

単位：百万円

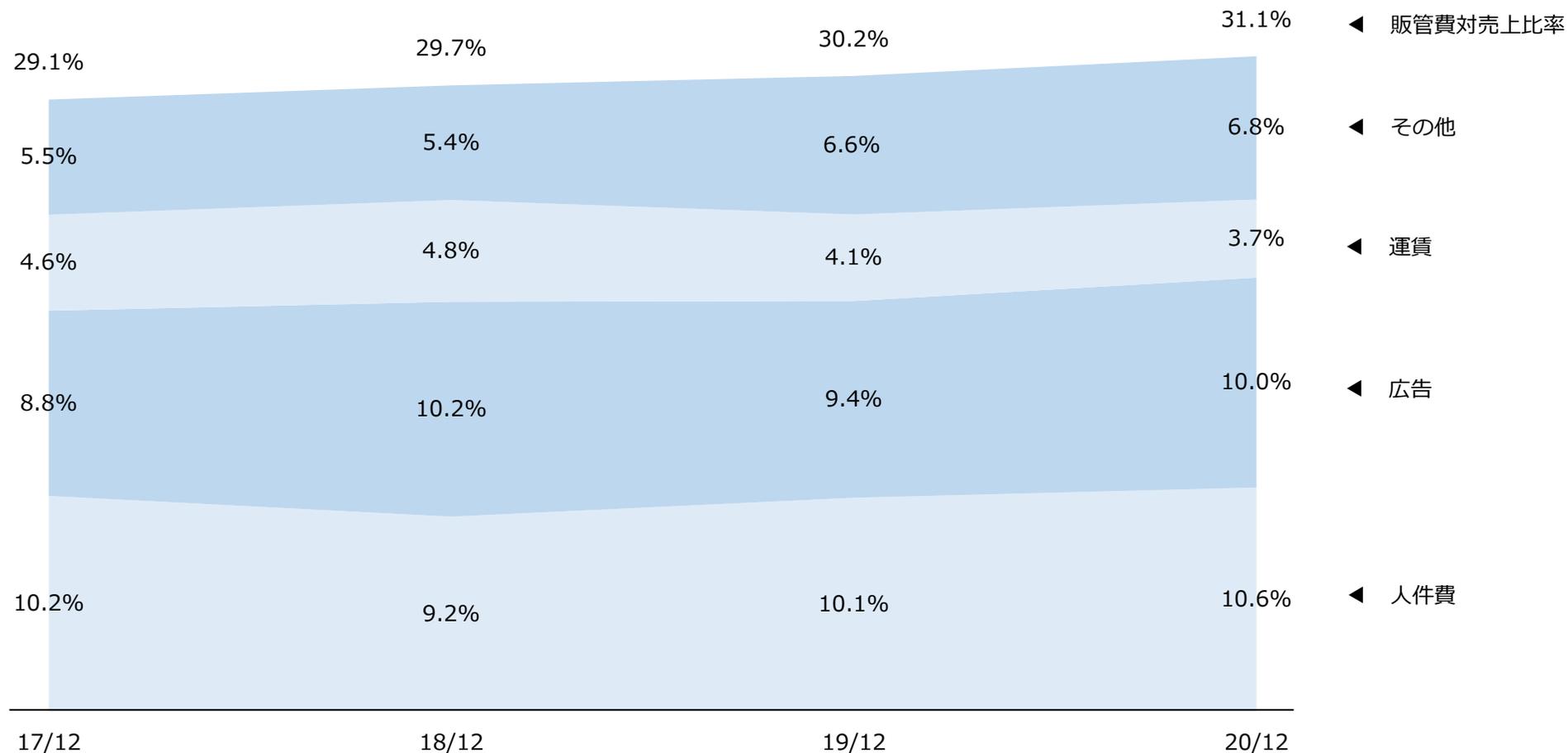


# 営業利益の増減分析

単位：百万円

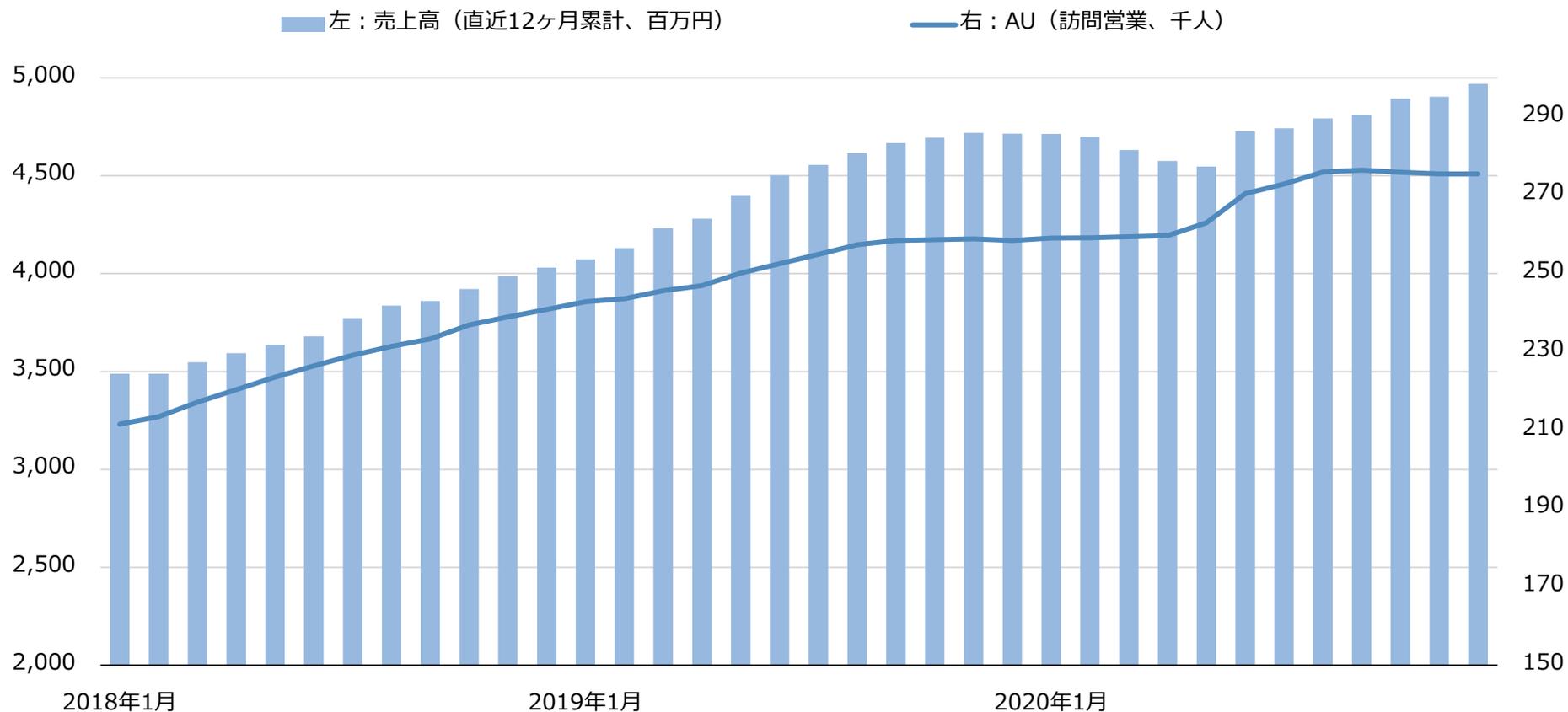


## 販管費の推移



※19/12の運賃比率低下は、物流委託費（運賃として計上）の自社運用への切り替え（人件費として計上）の影響による

# AU（アクティブユーザー）と売上推移



※AU：直近2年間で1度以上注文いただいたお客様  
 2019年12月：258,499    2020年12月：275,449

# 2021年12月期 事業計画

---

## 21/12期 通期業績予想

	20/12期計画	成長率
売上高	6,076百万円	22.3%
営業利益	424百万円	31.7%
経常利益	424百万円	25.1%
当期純利益	279百万円	24.6%
1株当たり配当金（予定）	10円	—

## 21/12期 事業計画 概略

売上高	6,076百万円（前年比22.3%増） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶一定水準まで受注率が向上したDMカタログの配布数を増加、積極的な新規顧客増加を図る</li> <li>▶ユニフォームネクストの認知度上昇、顧客満足度の高い接客対応による、受注率のアップ</li> <li>▶訪問営業の増員や営業プロセス強化による売上拡大</li> <li>▶新受発注システムの継続的な改修によるECサイトの利便性向上による、リピート率のアップ</li> </ul>
売上総利益	2,272百万円（前年比21.7%増） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶飲食店カテゴリの売上減によりプロダクトミックス変化が継続、若干の粗利率低下を見込む</li> </ul>
販売管理費	1,847百万円（前年比19.5%増） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶人件費：システムエンジニアの積極的採用により、人件費率は微増（10.62%→10.65%）</li> <li>▶広告費：DMカタログ発送数増加も、WEB広告の効率化・削減により広告費率減少（9.97%→9.06%）</li> </ul>
営業利益	424百万円（前年比31.7%増）
当期純利益	279百万円（前年比24.6%増）

## 21/12期 トピックス

---

### 販売施策

- ・顧客満足度の高さを活かし、顧客からの紹介を強化
- ・ユーザーの利便性が向上する、新たなWEBサービスのリリース
- ・刺繍プリント等の加工技術の強化
- ・訪問営業のスク립ト強化、確立による商談数増加
- ・スーツ型作業服に次ぐ、自社限定販売商品、オリジナルモデルの増加

---

### 組織・システム

- ・社内業務のIT化やWEBサービス開発スピードを更に加速させるための、IT企画チームの立ち上げ
  - ・利便性の高いデータ分析ツールの導入による、従業員のデータ活用の促進
  - ・時代の変化にスピーディーに対応できるティール組織への変換
-

## 免責事項および将来見通しに関する注意事項

### 免責事項

この資料は皆様の参考に資するため、ユニフォームネクスト株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

### 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。